ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

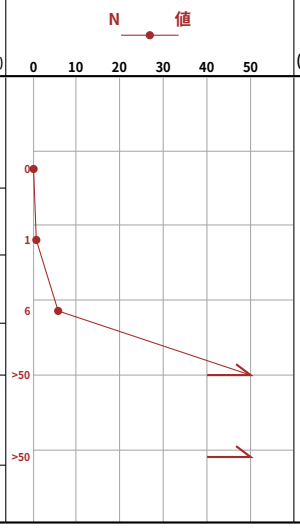
シートNO.

ボーリング名	No.2	調査位置						北　緯	36 ° 28 ' 07.0000 "
発注機関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2008-06-04 ～ 2008-06-05			東　経	140 ° 09 ' 32.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	140.92 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	
総掘進長	5.20 m							試錐機	ハンマー落下用具
								エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	139.22	1.70	1.70		砂質シルト (MS)	黒褐～暗灰		非常に軟らかい	0～0.6mは廃棄物・礫が混入。臭気あり。 0.6～1.1mは有機物が多く混じる。 1.1～1.7mはビニル片・木片・砕石が混じる。		06/05 0.41
2	137.67	1.55	3.25		礫混じり有機質シルト (MO-G)	暗褐灰		非常に軟らかい	φ2～30mm程度の軟質な礫が混じる。 全体に有機物・砂が混じる。 当層下部0.2mはφ5～30mm程度の礫が多い。		
3	137.32	0.35	3.60		風化頁岩 (Sh)	黒	中ぐらい		風化して粘土状～砂礫状コアとなる。		
4	135.72	1.60	5.20		頁岩 (Sh)	黒	非常に密な		100mm程度の短柱状、 φ5～30mm程度の角礫状コアとなる。 一部風化し粘土し、掘削水により流失する。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.00	00／50			00／50
1.50				
2.00	1／40			1／40
2.40				
3.00	0／24	6／7		6／31
3.31				
4.00	50／1			50／1
4.01				
5.00	20	30		50／20
5.20				



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		2.10	No.2			06/04
		2.70				06/05